

Elytra, New Series 投稿規程

1. 個人の会員は甲虫類およびそれに関連する報文を「Elytra, New Series」に投稿することができる。報文が共著の場合、著者の1人は会員であることを必要とする。
2. 報文は英文を原則とする。
3. 報文の長さは刷り上がり1号につき1著者あたり20ページ以内とし、超過ページの印刷費用（1ページ4,000円）は著者負担とする。
4. カラー印刷費は著者負担（1ページあたり10,000円）とし、本論文では1論文につき2ページまではその全額を、短報では1論文1ページに限り半額をそれぞれ学会で補助する。学会による補助は1号につき1著者1論文とする。
5. 著者校正は原則として初校のみとする。校正時の内容の変更や追加は認めない。もし、やむを得ない事情により変更・追加する場合は、それにともない発生する費用を著者に実費請求する。
6. 紙媒体の別刷は有料とし、「表紙あり」・「表紙なし」の種別に、10部単位で申し込むことができる（希望者のみ：送料別）。
7. 電子版別刷（pdfファイル）は学会負担で作成し、著者に配布する。

原稿の査読

原稿は原稿作成要領に従って作成され、十分に推敲したうえで、相応の知識を持つ第三者による適切な校閲を既に受けたものとする。原稿作成要領に従っていない原稿は受領されない場合がある。受領された原稿は、原則として2名の査読者によって査読される。著者は原稿投稿時に査読候補者（できれば複数人）を推薦できることとし、編集委員会は必要に応じて著者に対し査読候補者の推薦を求める場合がある。投稿原稿の採否は、査読者の意見に基づき、編集委員会が決定する。編集委員会は原稿の内容について訂正、再検討を求めることがある。重大な修正が要求されない場合は、変更箇所などについて、事前に著者に通知を行わない。

原稿作成要領

1. 原則として電子メールによる投稿原稿（ファイル添付）を受け付ける。原稿はMicrosoft Wordファイル（.doc又は.docx）もしくはそのソフトで読み込めるファイル形式で作成し、A4サイズの横書きとする。フォントサイズは欧文14ポイント（和文12ポイント）とし、句読点には「. , ; : ·」を用いる。欧文では、表題や見出しを含めて、いかなる場合にも大文字だけで表記しない。動植物の属およびそれ以下の学名はイタリックスタイルとする。人名の苗字（ラストネーム）は青色で入力し、決して大文字のみで入力しないこと（版組の際に青色の文字が小型英大文字に変換される。著者がフォントを調整する必要はない）。太字はボールドスタイルを用いる。なお、原稿フォーマットのファイルをwebサイトからダウンロードして使用することを推奨する。何らかの事情により原稿や図表の電子投稿が困難な場合には、著者の相談に応じて編集委員会が個別に判断し、対応法を通知する。活字や原図等の電子化や画像加工、挿図作成等の作業を編集委員会が負担する場合、それにともない発生する費用を著者に実費請求する。
2. 論文原稿は、表題、著者名、所属機関とその所在地（または住所）、原則として250単語以内の英文抄録（Abstract）、本文、要約（和文）および引用文献の順に配列する。著者が2名以上である場合は、著者名と所属機関およびその所在地（または住所）はそれぞれまとめて記す。
3. 短報原稿は、表題、著者名、所属機関とその所在地（または住所）、本文および引用文献の順に配列する。
4. 本文は簡潔かつ明瞭に記述し、論理的かつ明快な文章構成および論旨展開とすること。
5. 新種、新亜種の命名記載をとまなう報文には、正基準標本（ホロタイプ）の全形写真あるいは図を掲載することが望ましい。
6. 海外産の標本を使用した研究の場合、ABS指針に鑑み、原稿に使用する標本は合法的に入手され、著者自ら研究に使用可能であることを十分に確認したものとする。また、その責任は著者にあるものとする。
7. 引用文献は、著者名のアルファベット順に並べて下記の形式で記す（本規程はモノクロ印刷のため、人名の苗字は便宜上スモールキャピタルで表記している）。日本語の論文タイトルをローマ字表記または英文に投稿者が訳した場合は[]で囲むこと。雑誌の出版地を併記するか否かは、同一論文内で統一されていれば著者の判断に

任せる。ただし、地方同好会誌等については、読者の文献入手上の便宜を鑑み、必要に応じて出版地の併記を著者に求めることがある。その他、詳細は本学会webサイトの「文献の引用について」を参照されたい。

- DALLA TORRE, K. W. VON, M. VAN EMDEN & F. VAN EMDEN, 1931. Curculionidae: Brachycerinae: Pachyrrhynchini. In SCHENKLING, S. (ed.), *Coleopterorum Catalogus*, (119). 44 pp. W. Junk, Berlin.
- FLEUTIAUX, E., 1942. Entomological result from Swedish expedition to Burma and British India. Coleoptera, Elateridae, recueillis par René MALAISE. *Arkiv för Zoologi*, **33A** (18): 1–24.
- FURUKAWA, Y., 1990. [Report of insect survey in the Tokara Islands in 1987.] *Leben, Kagoshima*, (162): 18–27. (In Japanese.)
- KUSAMA, K. & M. TAKAKUWA, 1984. Cerambycinae. Pp. 249–351, pls. 26–48. In Japanese Society of Coleopterology (ed.), *The Longicorn-Beetles of Japan in Color*. 565 pp. Kodansha, Tokyo. (In Japanese.)
- MORIMOTO, K., 1984. Curculionidae. Pp. 269–345 [incl. pls. 53–68]. In HAYASHI, M., K. MORIMOTO & S. KIMOTO (eds.), *The Coleoptera of Japan in Color*, **4**. 438 pp. Hoikusha, Osaka. (In Japanese.)
- NIISATO, T., 2007. Illustrated key & description: Necydalinae. Pp. 250–251, 419–424. In OHBAYASHI, N. & T. NIISATO (eds.), *Longicorn Beetles of Japan*. 818 pp. Tokai University Press, Hadano. (In Japanese.)
- NIISATO, T. & Y. YOKOI, 2015. Additional records of *Merionoeda fusca* GRESSITT et RONDON (Coleoptera, Cerambycidae). *Elytra*, (n. ser.), **5**: 504.
- SCHÜLKE, M. & A. SMETANA, 2015. Staphylinidae. Pp. 304–1134. In LÖBL, I. & D. LÖBL (eds.), *Catalogue of Palaearctic Coleoptera*, **2**. Hydrophiloidea – Staphylinioidea. Revised and Updated Edition. xxv + 1702 pp. Brill, Leiden / Boston.
- TANAKA, M., 2013. [Collecting record of *Microsternus tokioensis* from the island of Kuchinoerabu-jima.] *Gekkan-Mushi*, (504): 45. (In Japanese.)
- TAVAKILIAN, J. & H. CHEVILLOTTE, 2022. Titan Database about Longhorns or Timber-Beetles Cerambycidae [online]. Available from: http://titan.gbif.fr/accueil_uk.html (accessed on 13 November 2022).
- ZHOU, J. X., Y. Z. SUN & H. Q. TANG, 1988. Economic Insect Fauna of Shaanxi Province (Coleoptera: Cerambycidae). 136 pp., 16 pls. Shaanxi Science and Technology Publishing House, Xi'an. (In Chinese.)
8. 報文中の標本採集データは原則として次の略記とする。
- (例) 3 ♂♂, 1 ♀, Iryûda, Odawara-shi, Kanagawa Pref., C. Honshu, Japan, 9.V.2003, M. TAKAKUWA leg.
20 exs., Phu Pan (Mt.), 1,600 m alt., Ban Saleui, Houaphan Prov., Laos, 1.V.2002, H. YOSHITOMI leg.
9. 原稿には、表紙をつけ、これに表題、ランニングタイトル(簡略した報文表題、欧文50字以内)、著者名、連絡先を記し、赤字で原稿ページ数、別刷の部数と表紙有無(紙媒体を希望する場合のみ)、そのほか連絡事項があれば記入する。
10. 図および表の番号は通し番号とし、それぞれFig. 1, Figs. 2–4, Fig. 5A–C, Table 1, Tables 2–5のように表記する。図の表題および説明は原則として次のように表記する。
- (例) Figs. 1–8. Habitus images of *Caenosilapillus* spp. — 1–4, *C. babai*; 5–8, *C. morimotoi* sp. nov. — 1–2, 5–6, Male; 3–4, 7–8, female. — 1, 3, 5, 7, Dorsal view; 2, 4, 6, 8, lateral view. Scale bars: 0.50 mm.
11. 図はすべて挿図(text-figure)として扱い、挿図と文書は別ファイルとする。挿図は、EPSまたはTIFF形式での作成を推奨する。解像度は線画1,200 dpi, モノクロ写真600–800 dpi, カラー写真350 dpiが望ましい。複数の図を挿図として組む場合、著者が希望するレイアウトのサンプルを原稿ファイルの末尾に配置するか別のファイルとして用意する。挿図の最大サイズは横幅135 mm, 縦幅199 mmとする。詳細は本学会webサイトの「電子アートワークの作成について」を参照されたい。挿図のファイルサイズが大きい場合には、投稿時にオンラインストレージや大容量データ送信サービス等を利用することが望ましい。
12. 図の説明および表は、それぞれ別紙に書き、原稿末につける。査読の便宜のため、100 dpi程度の低解像度の挿図も原稿末に配置しても良い。
13. 原稿の送付先は下記のとおり。

吉田貴大(欧文誌編集委員長)

電子メールアドレス: ElytraEditor@gmail.com

(最終改訂 2024年3月)